

会員会社紹介

スカパー JSAT 株式会社

宇宙事業部門 新領域事業本部 NTN事業部
小川 宗晃



スカパー JSAT は、2007 年のスカイパーフェクト・コミュニケーションズと JSAT、さらに 2008 年の宇宙通信との統合を経て、日本最大級の衛星放送事業を展開するメディア事業と、アジア最大/世界第 5 位の衛星通信事業を提供しています。

MEDIA
メディア事業

スカパー!

“日本最大級”の
衛星放送事業

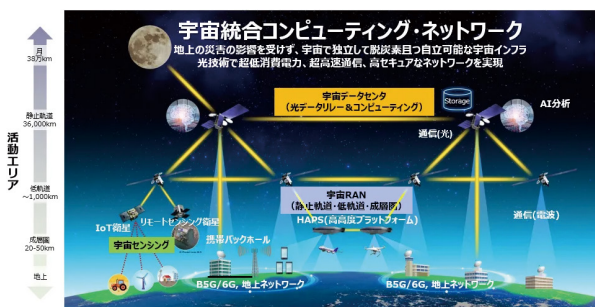
SPACE
宇宙事業



“アジア最大/世界第5位”の
衛星通信事業

16機の静止衛星を利用して
公共性の高いサービスを提供している

宇宙事業では、航空機内 Wi-Fi 向けの回線提供をはじめとするグローバル市場需要への積極対応や、国内外で衛星利用が拡大している携帯バックホール向けの回線提供を行っています。また、ビジネスインテリジェンス分野における収益拡大にとどまらず、さまざまな用途の宇宙インフラをビジネスパートナーとも協力しながら構築していき、Beyond 5G・6G 時代の宇宙統合コンピューティング・ネットワークによる新領域へ進出して新たな収益の実現も検討しています。



2022 年 7 月にはスカパー JSAT と NTT で宇宙

統合コンピューティング・ネットワークの構築を目指した Space Compass 社を設立し、宇宙 RAN (Radio Access Network) 事業と宇宙 DC (Data Center) の 2 つの事業に取り組んでいます。

2022 年 5 月には TTC の 3GPP 専門委員会に加入しました。無線通信の歴史において、3GPP で仕様が策定される地上モバイル技術と衛星通信技術は独立したエコシステムとして発展してきました。衛星通信技術はメーカー独自仕様となる傾向があり、十分にオープンなエコシステムではありませんでした。一方、3GPP では 5G の初期リリースである Release-15 から地上モバイルネットワークと衛星ネットワークの統合の重要性が認識されており、Release-17 では NTN (Non Terrestrial Network) の初期フェーズの仕様が完成しています。現在も Release-18 でフェーズ 2、Release-19 でフェーズ 3 の検討が継続して行われています。今後、3GPP の NTN の取り組みにより衛星通信の分野でも技術革新、相互接続性向上、コスト低下が促進されることを期待しています。

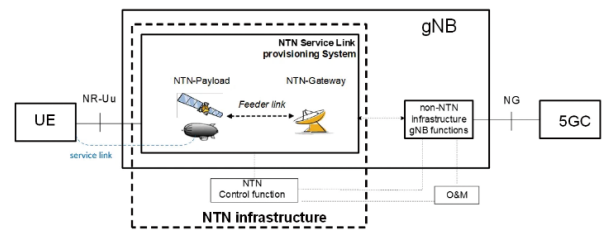


Figure B.4-1: NTN-based NG-RAN

3GPP での NTN アーキテクチャ

このような状況から当社 NTN 事業部では、3GPP を中心とした NTN 標準化の重要性を認識し、2022 年 5 月に 3GPP に加入しています。今後、その動向を把握するとともに、併せて TTC での標準化活動にも貢献していきたいと考えております。